

～ときを越え
受け継がれるもの～

高根神社

＝水沢区真城字高根＝

陸中折居駅の東、田園の中に高根神社は構える。周辺集落が大火に見舞われた昭和8年、以前の建物は焼失。昭和14年に、現在の建物が再建された。

神仏習合までは、高峰山清福寺と称された。別当であった五宝院の山伏、正覚坊が寛政9年（1797年）、下伊沢一揆を指揮。昨年3月、奥州市民劇「ひびけ木貝よ！」で、地域に伝わるこの歴史が演じられた。

かつて、神社には「木花咲耶姫命」が祭られていた。一揆を起こした正覚坊は処刑され、その家族がこのご神体とともに宮城県大崎市へ。そこで祭られ続けていたが、昨年9月、215年ぶりにご神体が帰還。高根神社の本殿西にある山神宮に合祀された。

境内にかれない池があり、その昔、雨乞いをしたといわれるが、元来、安産を祈願した神。今もなお、子宝を願う人たちの参拝は後を絶たない。



1



3



2

1 神社入り口から高根神社の全景を望む 2 215年ぶりに帰還した高さ60cmの木花咲耶姫命立像 3 木花咲耶姫命が合祀された山神宮

広告